

第 2 回少人数教育推進検討委員会（8 月 3 0 日）の概要

1 報告事項

第 1 回少人数教育推進検討委員会の概要について報告。
引き続き効果検証を進めていくことを確認。

2 議題

(1) 25 人学級導入の効果検証について（全体の概要及び調査結果の概要説明）

- ・ 25 人学級では、教師が話を聞いたり、声かけを多くしたりするなどのコミュニケーションの充実を図ることができ、児童が教師や友達に自身のことを伝えやすい環境がつくられている。
- ・ 25 人学級導入に伴う教員数増により、児童への支援の体制が充実している。
など
⇒ 25 人学級導入による効果は多岐にわたる。

(2) 小 3 以降の少人数教育について（委員からの意見）

- ・ 小学校 3 年生以降についても国の 35 人学級編制の基準を上回る基準が望ましい。
- ・ 学級規模として、25 人学級と 30 人学級の両方が考えられる。
 - 25 人学級 …… 児童一人一人に目をかけやすい。
教員の負担軽減につながる。 など
 - 30 人学級 …… 3 年生以降は多様な意見や考え方に触れる機会が増え、大きな集団において個と集団のバランスが必要である。 など

(3) アクティブクラスの取り扱いについて（委員からの意見）

- ・ 現行の制度を存続させつつ、制度の改善は必要である。
- ・ 改善の方向として、午後の担任の業務負担を軽減するために、午前の勤務だけでなく午後の勤務を可能にしてほしい。 など